

未払債務の合計額がご利用可能額を超える場合の例

ETCでのご利用料金は、お客様がご利用された日から数日後に、一定期間のご利用分をまとめて確定処理を行っております。そのため、未払債務の合計額が一時的にご利用可能額を上回りますと、ドラ割対象すべてのご利用分の料金を確定した時点の未払債務の合計額がご利用可能額を下回る場合であっても、利用停止となる場合があります。

【例】（「北海道冬トクふりーぱす」ではなく、一般的なドラ割の例）

- デポジット額 40,000 円
- ご利用可能額 32,000 円
- ドラ割商品の料金 10,000 円（6 日間プラン、利用期間：6/5～10） の場合

1. ドラ割商品の料金が適用される前

未払債務の合計額は、一旦、通常の料金（12,000 円、7,000 円、9,000 円、8,000 円）で計算するため 36,000 円となり、一時的にご利用可能額（32,000 円）を上回ります。その後、すべての通行にドラ割商品の料金が適用されると、未払債務の合計額は、ドラ割対象外の料金（12,000 円）とドラ割商品の料金（10,000 円）の合計額の 22,000 円となりご利用可能額を下回りますが、一時的にご利用可能額を上回るため、利用停止となる場合があります。

ドラ割ご利用期間					
5月25日	6月5日	6月8日	6月10日		
ドラ割対象外	ドラ割対象	ドラ割対象	ドラ割対象		
通常の料金 12,000円 ↓ 6月4日までにご利用分の料金を確定した時点 12,000円	7,000円 ↓ + 7,000円 ↓ 12,000円	9,000円 ↓ + 9,000円 ↓ 10,000円 + 0円	8,000円 ↓ + 8,000円 ↓ 0円	=	未払債務の合計額 36,000円 > ご利用可能額 32,000円 ◀ 利用停止 ▶
ドラ割対象すべてのご利用分の料金を確定した時点 12,000円	10,000円 + 0円	0円	0円	=	未払債務の合計額 22,000円 (ドラ割商品の料金)

2. 一部の通行にドラ割商品の料金が適用された後

未払債務の合計額は、一旦、通常の料金（12,000 円、9,000 円、8,000 円）とドラ割商品の料金（10,000 円）を合算するため 39,000 円となり、一時的にご利用可能額を上回ります。その後、すべての通行にドラ割商品の料金が適用されると、未払債務の合計額は、ドラ割対象外の料金（12,000 円）とドラ割商品の料金（10,000 円）の合計額の 22,000 円となりご利用可能額を下回りますが、一時的にご利用可能額を上回るため、利用停止となる場合があります。

ドラ割ご利用期間					
5月25日	6月5日	6月8日	6月10日		
ドラ割対象外	ドラ割対象	ドラ割対象	ドラ割対象		
通常の料金 12,000円 ↓ 6月7日までにご利用分の料金を確定した時点 12,000円	7,000円 ↓ + 10,000円 ↓ ※6月5日のご利用のみ一時的にドラ割商品の料金に置き換わる 10,000円 + 0円	9,000円 ↓ + 9,000円 ↓ 10,000円 + 0円	8,000円 ↓ + 8,000円 ↓ 0円	=	未払債務の合計額 39,000円 > ご利用可能額 32,000円 ◀ 利用停止 ▶
ドラ割対象すべてのご利用分の料金を確定した時点 12,000円	10,000円 + 0円	0円	0円	=	未払債務の合計額 22,000円 (ドラ割商品の料金)